

14  
58

菁莪堂教育書房編纂

入學式無問題集 第一集

附入學手續並受驗手續

大分 菁莪堂教育書房



特 62

286

菁莪堂教育書房編纂

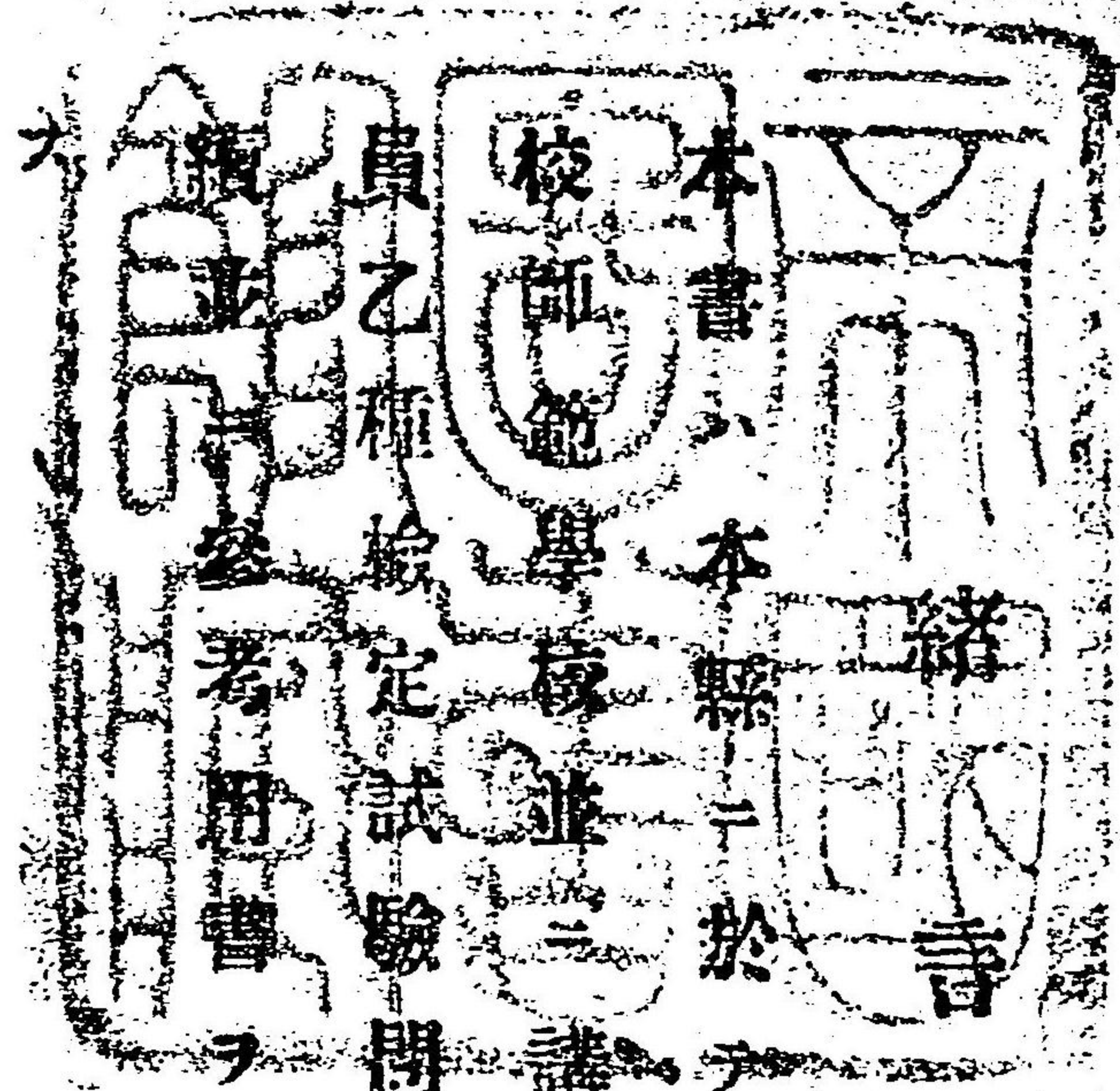
入學試驗問題集

第一集

附入學手續並受驗手續

大分菁莪堂教育書房





本書ハ本縣ニ於テ最近ニ執行セラレシ高等女學  
 校師範學校並ニ講習科入學試験問題及小學校教  
 員乙種檢定試験問題ヲ蒐集シ且受験ニ關スル手  
 續並ニ參考用書ヲ附記シ以テ受験者ノ參考トナ

明治三十四年六月

編者識ス



目次

一 明治三十四年度大分中學校試驗問題	一
一 明治三十四年度高等女學校入學試驗問題	三
一 明治三十三年度師範學校入學試驗問題	五
一 明治三十四年度師範學校入學試驗問題	一〇
一 明治三十三年度師範學校講習科入學試驗問題	一四
一 明治三十四年度師範學校講習科入學試驗問題	一九
一 明治三十三年第一回小學校教員檢定試驗問題	二一
一 明治三十四年第一回小學校教員檢定試驗問題	五四
一 中學校入學手續	七五
一 高等女學校入學手續	七七
一 師範學校入學手續	七九
一 教員檢定ニ關スル手續	八一
一 教員檢定ニ關スル參考用書	八五



入學試驗問題集

第壹集

附受驗手續並受驗心得

第一試驗問題

●明治三十四年度大分中學校試驗問題

●算術科

- (一) 甲乙三種ノ茶アリ甲茶三斤乙茶二斤ノ代價合セテ三圓廿壹錢ノ甲茶乙茶各一斤ツ、買フ時ハ合セテ一圓廿三錢ヲ要スト云フ各一斤ノ價如何
- (二) 旅人アリ其ノ旅行セシ道程ヲ計算セシニ瀛車ニテ六十五里ヲ行キ汽船ニテ八十五里ヲ航シ而シテ人力車ニテ全道程ノ七分ノ一ヲ行キタリト云フ此ノ人ノ旅行セシ全道程幾何ナルカ
- (三)  $25\frac{1}{4} \times 0.3 \times 4\frac{2}{3} \times 0.12 \times \frac{33}{48}$  ナ簡單ニセヨ



(四) 或人地面百二十坪ヲ若干田ニテ買入レ之ヲ或直段ニ賣リテ六十圓ノ損失ヲ被レリ若シ一坪拾貳圓ニ賣リシナラバ三百八拾四圓ノ利益ヲ得ベキ筈ナリシト云フ一坪ノ賣價幾何ナルカ

● 國語科 (講讀)

以下三問題ニ付キスベテ寫シ取リワカリ易キ様説明スベシ但第三ノ各語ニハ讀ミ方ヲモ附スベシ

(一) かの人の弱きを扶けて強きを挫く風ありしの人情の紙よりも薄き今の世には珍らしとて親しきも疎きも賤しきも老いたるも若きもその花を惜まぬはなし

(二) 長者を輕しめ侮り有司を畏れず無禮緩怠なるは甚ぐ惡した風儀なり

(三) 御陵 自若 遺言 遊歴 菅亟相

● 國語科 (作文)

(一) 櫻花と見る記

● 國語科 (習字)

逝者如斯不舍晝夜

● 明治三十四年度高等女學校入學試験問題

● 讀書科 (一時三十分間)

婦女の學問は、とかく枝葉の學問即ち詩歌文章、其の他音曲、茶の湯、生花等にのミカを用ひて根本の學問、即ち心と治の身を修むべき學問に心を用ふる事を知らば、故に今日は可ありに學問ある女子にても和順みらざると、怒り恨むると人を誘ると物妬む等の心とい無學の人に異ならざる人あり是にては學問しても、さほどの益なし何とぞ根本の學問と心がけたきものなり。

右ノ文章と講義ヲナスベシ



曉の空

夜半の嵐

光陰は流水の如し

四方の眺望の麗しき

常盤木

眉目形

右の字句漢字ニ假名ヲツケ意義ヲ解釋スベシ

女子は温和にして従順なるべし

勉強は幸福を生むの母なり

右ノ文章書取ラシム

●作文科 (二時間)

故郷なる父母の許に送る文 (日用文)

父母の恩 (記事文)

●算術科 (二時間)

- (一) 反物商壹反ニ付貳圓三拾七錢ノ紬三拾六反買入レ後悉ク賣拂ヒテ代價金九拾壹圓八拾錢ヲ得タリト云フ一反ニ付幾何ノ利金ヲ得シカ
- (二) 壹俵四圓四拾四錢ノ米五俵ト外ニ同種ノ米三斗四升ヲ買フトキハ價金貳拾六圓貳拾八錢ヲ要スト云フ壹俵ノ升數ヲ問フ
- (三) 男壹人ノ給金ハ女壹人ノ給金ニ二倍ス今男拾壹人女七人十二日ツ、働キ合計五拾九圓拾六錢ノ賃金ヲ得タリト云フ各日給如何
- (四)  $(\frac{2}{3} \times \frac{5}{6} - \frac{3}{8}) + (1 + \frac{3}{4} + \frac{2}{3} - 1\frac{5}{6})$ ノ値ヲ求ム
- (五) 新ニ公園ヲ拓キ松柳櫻合千貳百貳拾五本ヲ植付ケタルニ全數ノ七分ノ二ハ松五分ノ二ハ柳其餘ハ櫻ナリト云フ各幾本ナルカ

●明治三十三年度師範學校入學試験問題

●國語科 (講讀)



(一) すべて此の處みありかのあさりの更にもいはば僧坊のかたはら道の  
 隈々までさる山中は落葉の一たよなくいとさきらかに掃き清光  
 さること又たぐひあらじと見ゆ櫻は今とさかりにてここもかしこも  
 白妙に咲きみちたる花の梢処からいまして面白きこといはん方あし  
 右ハ全文の講義ヲナスベシ傍線ヲ附シタル語句ハコトニ注意シテ  
 解釋スベシ

(二) 蕃山先生既に參政となり地位益々隆し然るに家人雍睦にして生を治  
 ひること儉素なり妻女或い薪水を執り先生常に郊外に樹木すくな  
 く雲雨應せずして頻年大旱することと患ひ大に樹と諸山に植ゑぬい  
 まだ數年ならざるに條達暢茂し夏雨屢いよりてまた稿旱の患なかり  
 き明曆元年饑饉あり先生村里と巡視して日夜休まず心を賑濟に尽し  
 ぬ民困りて以つて蘇息せり先生妙に水利を解したり溝洫を通じ隄防  
 と造り以つて旱澇に備へし等あげて數ふべからず

右ハ傍線ヲ附シタル語句ノミヲ解釋スベシ  
 (三) 愚昧 準繩 從容 豪邁 懿德 風致 稼穡 脚半 鬪護 弱冠

右ハ讀ミ方ト意義トヲ記セ

● 國 語 科 (作文)

- (一) 節儉説
- 右漢字交リ文
- (二) 台灣ニ在ル友人ニ與フル文
- 右日用文

● 國 語 科 (習字)

- 由儉入奢易 (楷書)
- 由奢入儉難 (行書)

● 算 術 科

- (一) 或人一俵ニ付金五圓拾五錢ニテ三百五十九俵ノ米ヲ買ヒ入レ其後之  
 ナ賣リテ總益金百二十五圓六拾五錢ヲ得タリ一俵ノ賣價幾何ナルカ
- (二) 距離千五百六十間ノ場所ニ電話機ヲ架設セントスルニ先ツ両端ニ夫



- 々電話柱ヲ樹テ更ニ其間ニ二十九本ノ電話柱ヲ樹テテ各柱間ノ隔ヲ
- 同一ナラシメントス幾間ツノ隔テノ樹ツベキカ
- (三) 五ニテ除スルモ九ニテ除スルモ十五ニテ除スルモ或商ヲ得テ常ニ三
- ヲ餘スベキ最小數ヲ求メヨ
- (四) 一河ヲ往復スル舟アリ順行ニ費ス時間ハ逆行ニ費ス時間ノ三分ノ一
- ナリ然レモ若シ此河流ヲシテ毎時ノ速サ一里ノ五分ノ一ヲ増サシム
- ル時ハ順行ニ費ス時間ハ逆行ニ費ス時間ノ四分ノ一トナルベシ毎時
- ノ潛力幾何

(五)  $(\frac{3}{5} \times \frac{1}{17} + \frac{4}{12} - \frac{3}{16}) \div (\frac{5}{9} - \frac{7}{8} + \frac{28}{20} + \frac{1}{3})$ ヲ計算セヨ

- (六) 甲十一人女五人ニテ二十日間ニ成就スベキ工事ヲ男六人女十一人ニ
- テ成就セシニハ人幾日ヲ要スベキカ但男二人ニテ成スベキ仕事ハ女
- 三人ニテ成スベキ仕事ニ等シトス

注意 (三)ハ運算ノ儘之ヲ詳記シ其他ノ問題ハ分解式ヲ作り各部  
 ノ答數ヲ明ニシ(四)ニハ特ニ説明ヲ加フベシ

● 歴 史 科

- (一) 和氣清麿ノ傳ヲ記セ
- (二) 鎌倉時代ニ於ケル佛教ヲ説明セヨ
- (三) 北條泰時豊臣秀吉徳川家康大友義鎮ノ居城ハ何處ニアリシカ
- (四) 徳川吉宗ノ治蹟ヲ問フ

● 地 理 科

- (一) 本縣内ニアル港名ヲ列舉シ且各港ノ主要ナル取引地ヲ附記セヨ
- (二) 本邦ニ於ケル織物業ニ就キ知ル所ヲ記セ
- (三) 本邦中雨量少ナキ地方ヲ舉ゲ且之ヲ生スル原因ヲ問フ
- (四) 左ノ都邑ニツキ知ル處ヲ問フ  
 竹敷 細島 臺北 小樽 宇佐
- (五) 左記名稱ノ讀方及所在地ヲ問フ  
 占守島 蒲生田岬 新發田町 巨椋池 大山



●明治三十四年度師範學校入學試験問題

●國語科 (講讀)

- (一) 次ノ文章ノ意義ヲ記セ  
大藩中には勤王無二の家柄も少からされども許多の藩には俗論行ひ  
れて正義伸ひず天皇の御志の程も容易に四海の人心に洽さ事を得ず  
天下これが爲に益々擾亂して糜爛鼎沸の勢となる
- (二) 次ノ語ノ意義ニツキ知レル限リヲ記セ  
なかく、やうやく、忍ぶ、
- (三) 左ノ文章中ニ誤字若クハ當字アラバ之ヲ訂正スベシ  
我校二百餘名の健兒ハ末明に起き出て隊伍を整へて其地に向つて加  
行せり

●國語科 (作文)

- (一) 師範學校ニ入學ヲ勸ムル文

右書牘文

- (二) 田舎ノ樂

右記事文

●國語科 (習字)

國忠亡良臣家悲絶練言

右楷行二体

過日御依頼申上置候件は如何相成候哉

右草書

●算術科

- (一)  $246073 \times 06 - 1375 \times 0129 + 214 \times 160$ ヲ詳算セヨ
- (二) 一日ノ賃錢四十錢ナル職工ヲ三十日間雇ヒテ賃錢九圓四十錢ヲ拂フ  
但シ業ヲ休ミシトキハ過料トシテ一日毎ニ金十二錢ヲ出サシムル約  
束ナリシト云フ此職工ノ休ミシ日數幾何ナルカ



(三) 
$$\frac{4\frac{2}{3} + 4\frac{1}{5} \times 4\frac{1}{3}}{4\frac{1}{3} - 2\frac{1}{3} + 1\frac{1}{9}} + \left( \frac{1}{2} - \frac{3}{4} \times \frac{1}{5} \right)$$
ヲ最簡ニセヨ

(四) 吳服尺ニテ一尺平方ノ緞通ノ代金ヲ十二錢トスレバ縦二間横一間半ノ室ニ敷クベキ緞通ノ代金幾何ナルカ

(五) 一斤ニツキ三十錢ノ砂糖ト一圓五十錢ノ茶トヲ買ヒ代金合シテ百二十六圓五十錢ヲ拂ヒタリ但茶ノ斤數ハ砂糖ノ斤數ニ一個三分ノ一倍オト云フ各斤數ヲ求メヨ

(六) 或農夫四日ト七分ノ二日間ニハ田地二反二畝ヲ耕シ此割合ニテ五日ト五時間ニハ二反八畝ヲ耕セリト云フ此ノ農夫ガ毎日働キシ時數ヲ比例式ニテ求メヨ

注意 (一)ト(三)トハ運算ノママ之ヲ詳記シ其他ノ問題ハ算式ト答數トヲ作り特ニ必要アリト認ムル時ハ便宜説明ヲ加フベシ

● 歴 史 科

(一) 上古ヨリ徳川幕府創立ノ頃マデ我國ト外國ト交渉關係セシ事件ヲ時代ノ順序ニ列擧セヨ

(二) 左ノ各頂ハホボ幾年間ナルカ

- (イ) 神武天皇即位ヨリ大化新政マデ
- (ロ) 大化新政ヨリ鎌倉幕府創立マデ
- (ハ) 鎌倉幕府時代
- (ニ) 鎌倉幕府滅亡ヨリ徳川幕府創立マデ
- (ホ) 徳川幕府時代

(三) 左記人々ノ生存時代及重要ナル事蹟ヲ述ベヨ

- (イ) 北畠親房
- (ロ) 阿部比羅夫
- (ハ) 源 空
- (ニ) 新井 白石
- (ホ) 藤原不比等

(四) 左ノ各地ニツキテ歴史上有名ナル事蹟ヲ記セ

- (イ) 宇 佐「豊前」
- (ロ) 吉 野「大和」
- (ハ) 小田原「相模」
- (ニ) 島 原「肥前」



●地理科

- (一) 大分町ヨリ本縣各郡役所ニ至ル通路ニ付キテ概要ヲ記セ
- (二) 四國ノ畧圖ヲ描キ縣廳所在地山脉河流ヲ記入セヨ
- (三) 東山道諸國ノ物産ノ主ナルモノヲ問フ
- (四) 左ノ地名ニツキ知ル所ヲ記セ
  - (1) 銚子
  - (2) 三池
  - (3) 首里
  - (4) 小樽
  - (5) 堺

●明治三十三年一月施行師範學校講習科  
入學試驗問題

●讀書科

- (一) 人に藉りて事を成さむことを欲する者は危し
- (二) 民生は勤にあり勤むれば置しからず  
右解釋
- (三) 九郎兵衛は兩國米澤町の乾物舖の主人なり其の性樸直にして虚飾を

喜ハサ蓬鬢。敵衣。意。憂。如。たり。其の商業に於ける日夜勉勵して毫も倦怠の色なし故を以て家財頗饒なり  
右付圈ノ箇所ノ讀方ト意義トヲ要ス

●作文科

- (一) 時間を守る必要  
右漢字交リ文
- (二) 夜學會を創むることを相談する文  
右書簡文

●算術科

- (一) 米四斗入三百二十四俵アリ之ヲ一俵ニ付四斗五升入ニ作り換フルルハ何俵ヲ減ズルカ
- (二) 大中小三種ノ筆アリ一本ノ價大筆ハ五錢六厘中筆ハ大筆ヨリ壹錢八厘安ク小筆ハ中筆ヨリ更ニ壹錢三厘安シト云フ今金八圓九拾貳錢五



(三) 厘ヲ以テ各同數ヲ買ヒ求ムル片ハ惣計幾本ヲ得ベキカ  
 或村落ノ小學校ニテ使丁ヲ遣シ生徒用小學修身書及小學讀本合シテ  
 七拾八冊ヲ買ヒ求メントシテ代金六圓拾八錢五厘ヲ渡セシニ使丁誤  
 リ修身書ト讀本トノ冊數ヲ取り間違ヘテ買ヒ求メシ故代金ノ内廿八  
 錢ヲ餘シテ歸ヘレリト云フ然レバ最初學校ニテ使丁ニ申シ渡セシ各  
 ノ冊數幾何

但一冊ノ定價修身書ハ金六錢讀本ハ金九錢五厘ナリ

(四) 五個十八分ノ五ト二個五十六分ノ二十三トノ和ヲ三個七十二分ノ十  
 三ニテ除セヨ

(五) 或人若干圓ノ資本金ヲ以テ商業ヲ營ミ其三分ノ一ト四分ノ一ト五分  
 ノ一トニ當ル利益ヲ得シガ爲現今ノ資産ハ金三千二百十圓トナレリ  
 ト云フ最初ノ資本金額幾何

(六) 一工事アリ其十三分ノ七チナスニ二十八日ヲ費セリ然ル片ハ其殘餘  
 ナナシ終ランニハ尙幾日ヲ要スベキカ

●習字科

人無遠慮必有近憂  
 右楷行書

●明治三十三年九月施行師範學校講習科  
 入學試驗問題

●算術科

- (一) (42863893 - 3218227) ÷ 823 + 35465 × (4765 - 3897) ヲ計算セヨ
- (二) 雞三十羽ヲ買ヒ其中十二羽チ一羽ニ付三十五錢ニテ賣リ二羽ノ原價  
 ニ等シキ金高ヲ損セリト云フ然レバ殘リノ雞ヲ一羽ニ付幾何ニ賣ラ  
 バ差引利益金一圓十四錢ヲ得ベキカ
- (三)  $(5\frac{3}{4} + 2\frac{2}{35} + 1\frac{11}{25} - 15\frac{3}{4} \times \frac{3}{7}) + (\frac{3}{7} \times 7\frac{3}{7} - 5\frac{3}{5} + 3\frac{4}{15})$  ヲ簡單ニセヨ
- (四) 一ノ仕事アリ甲乙二人共カシテ之ヲナセバ九日ニテ成就シ甲一人ニ  
 テナセバ二十四日ニテ成就スベシト云フ乙一人ニテ之ヲ爲セバ幾日



ニテ成就スベキカ

(五) 或人所有金ノ三分ノ一ヨリ六圓多ク費シ其後更ニ其殘リノ二分ノ一ヨリ拾圓多ク費シタルヲ以テ僅ニ二圓ヲ餘シタリト云フ此人ノ最初ノ所有金幾何

(六) 長三間半幅二間半ノ座敷ニ敷物ヲ敷カントスルニ一坪ノ敷物ノ代金三圓五十錢トスルトキハ総敷物ノ代金何程ヲ要スルカ

◎ 國 語 科 (講讀)

(一) 左ノ文章ノ大意ヲ明確ニ記述セヨ

兵權既ニ武門ニ移リシヨリ朝廷復軍政ナシ將家各其威カヲ用キテ海内ノ兵ヲ控制セリ其始ニ當リテハ兵農分ルト雖兵皆士着シ其富豪ナル者ハ多ク子弟從卒ヲ養フ之ヲ大名小名トイヘリ

一次ノ文章中片假字ニテ記シ双線ヲ附セルモノヲ漢字ニ改メヨ  
内閣ノ各省ハ。大臣。次官。サンジ官。書記官。ヒシヨ官等ヲ以テ  
ソシキシ大臣ハシユニソノ事務ニ就キテヒキニ任ジ又其事務ニ就キ

必要アルトキハ法律勅令ノ案ヲ具ヘテ閣議ニテイ出ス

◎ 國 語 科 (作文)

心ハ清キチ尙フ説

右漢字交リ文

水害ノ狀況ト報知する文

右書簡文

◎ 國 語 科 (習字)

修學習業 啓發智能

右楷行二体

●明治三十四年二月施行師範學校講習科

入學試験問題

(一) [314.112-07X24.3] ナ計算セヨ

(二) 某數ニ2651ヲ乘ジ之レニ13053ヲ加フレハ2222222トナル某數ヲ求



(三) 同方向ニ行ケル甲乙二人アリ甲ハ乙ニ後ル、一二十四里ナリ今甲ハ毎日十二里乙ハ毎日九里ヲ行ケバ何日ノ後甲ハ乙ニ追ヒ付クカ

$$\begin{array}{r} 1 \\ 2 \\ 1 \\ \hline 1 \\ 2 \\ 1 \\ \hline 6 \end{array}$$

ヲ簡單ニセヨ

注意 (一)ト(四)トハ運算ノマヽ之レヲ詳記其他ノ問題ハ算式ト答數トヲ作り必要アリト認ムルキハ説明ヲ加フベシ

◎國語科

- (一) 次ノ文章ハ如何ナルコトナイフカ其大意ヲ記セ  
黒烟濛々たる中より紅の舌を吐き出せるは天魔の所爲かと物すとし
- (二) 左ノ語ノ意義ヲ記セ  
一 雲泥の差      二 皇祖皇宗の遺訓

三 隣間

四 蒼生

五 寶祚

六 霸府

七 殖民地

八 いづくとりか歸られたるらん

(一) 春の景色

右記事文

(二) 友人の凱旋を祝する文

右書牘文

◎習字科

良藥苦口忠言逆耳

右楷行二体

●明治三十三年十一月尋常小學校本科正教員

檢定試験問題

◎修身科



- (一) 徳器ヲ成就シ  
右謹ミテ解説スベシ
- (二) 疎忽ハ過キ招キ悔ヲ來ス基ナリト其理由ヲ例解セヨ
- (三) 去年今夜侍清涼、秋思詩篇獨斷腸、恩賜御衣今在此、捧持毎日拜餘香、  
右解釋
- (四) 修徳上情慾制御ノ必要ナル所以如何

● 教 育 科

- (一) 類化作用トハ如何
- (二) 審美的感情ノ性質ヲ記セ
- (三) 教育ハ個人ノ特性ヲ斟酌シテ施スベシト云フ理由ヲ問フ
- (四) 幼年生ニハ豫備ノ分量ヲ多クシテ提示ノ分量ヲ少クシ稍長スルニ從  
フテ次第ニ提示ノ分量ヲ多クシ豫備ノ分量ヲ少クスベシト云フ理由  
ヲ問フ
- (五) 地校選擇上ノ注意ヲ記セ

● 國 語 科 (講讀)

- (一) 左ノ文章ヲ解釋セヨ  
清少納言がさぬがり口がしこくて男と物ともせず大進生昌といへる  
博士をさいなみたるなどの今思ふにもにくげにて後に落ちぶれさる  
なを聞くにも親玄ひ人もなかりけるにやとさへはかられぬ男も此の  
女房などに及ぶべき才のひかし今稀なるべきだに猶かう思はるゝも  
のとまいてなみくの女をといみじくとも物の數かは唯あれどもな  
きがごとくすてふ教を思ふべくこそ
- (二) 次ノ文章中圈點ヲツケタル處ノ意義ヲ記セ  
夜に入れば興さし寄せて乗せ奉り爰より十町ばかりある河原へ出だ  
し奉り興ささるれば少しも臆しるる氣色もなく敷皮の上に居直  
りて辭世の願を書き給ふ
- (三) 五蘊假成形 四大今歸空 將首當白及 截斷一陳風  
次ノ文章中ニアル單語の品詞ヲ區別セヨ



我あそは參議經盛の三男無官の大夫敦盛なれ早々首をうされよと西に向ひて手を合はす

(四) 左ノ文章ニ誤リアラバ之ヲ訂正シテ其ノ理由ヲ示セ

一ととひ命の捨つるも君の爲には惜しからず

二若死るとき學ばぬ悔ひをかみしむる奥齒なきまで身の老ひにける

●國語科(作文)

學校生徒訓練ノ必要ヲ論ズ

右漢字交リ文

赤十字社入社勸誘に答ふる文

右日用文

●國語科(習字)

荷淨已無擎雨蓋菊殘猶有傲霜枝

右楷行二體

習字帖長々拜借仕リ有がたく御禮申上候今日返上仕候間御入手下さる

べく候

右草體

◎算術科「珠算」

(一) 八千七百五十三ヲ以テ或數ヲ除セシニ商六千五拾九ト剩餘三千三百三拾ニヲ得タリト云フ其被除數ヲ問フ

(二) 或人壹里ヲ歩行スルニ四拾九分四拾八秒ヲ費セリト云フ此割合ヲ以テ八里貳拾七町ノ道程ヲ歩行セバ幾何時ヲ費スベキカ

(三) 穀商アリ米麥各若干石ヲ仕入レ後之ヲ賣却セシニ壹石ニ付米ハ壹圓拾貳錢麥ハ七拾八錢ソハヨリ利シタルニヨリ總利金千五圓ヲ得タリト云フ米麥各ノ石數ヲ問フ  
但麥ノ石數ハ米ノ二倍ナリシト云フ

◎算術科(筆算)

(一) 次ノ式ヲ簡單ニセヨ



(105<sup>3</sup>+111+13)P86<sup>1</sup>  
3

- (二) 父子アリ父ノ二十年前ノ年齢ト子ノ七年後ノ年齢ト等シク又父ノ二年後ノ年齢ト子ノ六年前ノ年齢ト合スレバ六十一年トナルト云フ現年齢各如何
- (三) 甲工ナレバ十五日乙工ナレバ十八日ニテナスベキ業アリ今甲乙共ニ働キシガ内甲ハ二日乙ハ六日休ミタリト云フ初メヨリ成就マデノ日數ヲ問フ
- (四) 五、六、七、八、九、十ノ何レノ數ニテ除スルモ常ニ三ヲ餘スベキ最小數ヲ求ム
- (五) 一時ノ後時計ノ長針ト短針ト重リ合ヒテヨリ再ビ重ルハ第何時カ
- (六) 甲乙丙ノ三人アリ其年齢ノ比ハ  $\frac{1}{2} : \frac{1}{3} : \frac{1}{4}$  ニ等シク今ヨリ四年前ニハ甲ト乙トノ比ハ四ト三トニ等シカリキト云フ各人ノ年齢ヲ求ム

● 歴史科

- (一) 德川幕府創立以前我國ト支那トノ交渉關係セシ事件ノ概要ヲ列舉セヨ
- (二) 源氏ガ東國武門ノ棟梁トナリシ次第ヲ問フ
- (三) 德川時代ニ行ハレシ定免、足高ノ二制ヲ説明セヨ
- (四) 明治元年三月十四日ニ立テサセラレシ五條ノ御誓文ヲ問フ
- (五) 左記人々ノ生存セシ時代ト重要ナル事蹟トヲ記セ
  - 藤原基經 行基
  - 伊能忠敬 太安麿
  - 大野東人

地理科

- (一) 現今本縣ニ於ケル交通ノ有様ヲ問フ
- (二) 東北地方ノ畧圖ヲ畫キ重ナル山脈河流ヲ記入セヨ
- (三) 左ノ諸品ノ我が國ニ於ケル重ナル産地ニ就キテ知ル所ヲ記セ
  - 一、石油
  - 二、銅
  - 三、羽二重
  - 四、石炭
  - 五、陶器



(四) 左ノ都色ニ就キテ知ル所ヲ記セ

- 一、マンチエスター
- 二、アントワープ(アンウエル)
- 三、ボンベ(孟買)
- 四、漢口
- 五、太沽

◎理科

- (一) 血液ノ構成ヲ説キ其ノ各要素ノ働キヲ附説セヨ
- (二) 金銀ノ貴重セラル、所以及其ノ用途ヲ問フ
- (三) 植物ノ葉ハ如何ナル働キ有スルカ
- (四) シラサギノ嘴ハ足トハ共ニ長クタカノ嘴ト足トハ共ニ短ク鋭ク曲レルハ動物學上意味アルカ
- (五) 排氣機ノ構造及其ノ理ヲ説明セヨ
- (六) 凸レンズニ於テ物ノ肖像ノ大トナリ且ツ倒ニ見ユル理ヲ説明セヨ
- (七) 鹽素ノ製法及性質ヲ問フ
- (八) 黃燐ト赤燐トノ差異ノ点ヲ擧ゲヨ

◎裁縫科(縫方)

左ノ材料ト寸法トニ依リ本身綿入羽織ノ片身頃左ヲ裁縫スベシ

材料

表 白唐木綿巾七寸長壹丈八寸  
裏 紅木綿巾七寸長三尺八寸

縫上リ寸法

袖丈 九寸五分 身後丈 二尺  
前下リ 六分 袖巾 六寸  
袖口 四寸 其他ハ見計ヒ

裁方

巾九寸五分長二丈ノ布ヲ以テ左ノ寸法ニ依リ四ツ身逆衿ノ衣服ヲ圖解スベシ

袖丈一尺五寸 後巾七寸五分

其他ハ見計ヒ

積方

茲ニ二丈八尺ノ表布ト別ニ八掛布八尺アリ之ヲ以テ本身棒衿ノ綿入ノ



衣服之製法ハシニ補苴ヲ以尺五寸肩不引ヲ五寸五分身或三尺八寸五分ト  
シ裾襷ヲ五分(縫上リ)ハシ奥裏ト八掛トノ縫合セノ縫込ヲ各五分ッ  
ツトモ奥裏布幾何ヲ要スルカ

體操科

- (一) 柔軟体操 (第一教及第三教悉皆)
- (二) 實地部隊指揮 (整頓方向變換及行進間徒運動)
- (三) 第一徒手体操後半部
- (四) 第一陸鈴全部

問題

- (一) 横隊行進中停止スルコトナク其方向ニ縦隊行進ヲナサシムルニハ如何ナル号令ヲ下スカ尙其動作ヲ記セ
- (二) 矯正術第四節ノ動作ヲ詳解セヨ
- (三) 呼吸運動ト血液循環トノ關係ヲ述ベヨ

●明治三十三年十一月小學校准教員檢定試驗問題

●修身科

- (一) 我が國ニ於テハ忠ト孝トハ相一致スル所以ヲ記セ
- (二) 進取ノ氣象ヲ養フ方法如何
- (三) 代議士選舉者ノ心得ヲ問フ
- (四) 外人ト交ルニ注意スベキコト如何

●教科

- (一) 教授ハ心意發達ノ法則ニ從フベシト云フ原則ヲ實地ニ應用スル場合ニハ如何ノ條々ヲ心得ベキカ
- (二) 地理教授ノ目的ヲ論ゼヨ
- (三) 學校教課以外ニ作業ヲ課スル利益ヲ舉ケル
- (四) 教室内ノ整理ハ如何ニスベキカ
- (五) 小學校ニ備ヘ置クベキ必要ナル帳簿ヲ舉ゲヨ



◎國語科(講讀)

(一) 次ノ歌文ノ意義ヲ明記セヨ

1、昔孺子ありて滄浪之水清兮可以濯我纓滄浪之水濁兮可以濯我足  
と歌ひけりこの歌の本意は聖人は物に凝滞せず世と推し遷ると  
の意にてかく歌へるにてもあふむかし

2、千萬の仇に向ひてはしり猪のかへり見せぬと心ともがな

(二) 左ノ文章中圈點ヲ打チタル処ノ文意ヲ記セ

1、つら／＼天地のねのづかくなる景色を見よ山あり川あり雨露風  
雪のけりいづれか哀れとい見ぬ

2、田善ある時谷文兆の書を見て感歎して思へるやう世はうらる  
名匠もあるもれかれのれ生涯の力を筆にこめぬとも遂に此の人  
に軼くる事難がるべしと

(三) 次ノ口語ヲ文章語ニ改メヨ

1、名を廣めるは善いが強いて求めるのは善くない

2、家内の者が早く起きるのの家が榮ゆる基ぢや

◎國語科(作文)

學校教員ノ責務ヲ論ス

右漢字交リ文

子弟修業ノ狀況ヲ學校教員ニ問合スル文

◎國語科(習字)

遺愛寺鐘歌枕聽香爐降雪撥簾看

右楷行二体

教育時論購求の儀至極御同意に付組合に御加へ下され度候

◎算術科(珠算)

(一) 圓ノ周圍ハ直徑ノ3.14159の倍ナリ直徑四尺六寸五分ノ車ハ一廻轉毎ニ  
幾尺進ムベキカ

(二) 人ノ呼吸ハ毎分十立方尺ノ空氣ヲ要スト云フ然ラバ縦五間二尺横



三間高二間五寸ナル一室ヲ充タセル空氣ハ六十人ノ呼吸ヲ幾何時間支ヘ得ルカ

- (三) 六千〇七拾八ト九千八百〇三トノ積ヲ八千七百九拾六ニテ除セヨ  
答數ハ小數第三位マデ算出セヨ

●算術科(筆算)

- (一) 次ノ結果ヲ求ム  
$$\left\{ (13,8 - \frac{1}{9}) \times 2,125 \right\} \times 1,5 - \frac{4}{4} - \frac{3}{4} \} + 3,965$$
- (二) 米櫃アリ甲櫃ニ米五斗四合乙櫃ニハ麥三斗九升六合ヲ有ス若シ毎日米八合麥一升二合宛出ス時ハ何日ノ後殘米ハ殘麥ノ二倍トナルカ  
電信料一圓七拾錢ヲ拂ヒタル片ハ其電文幾字ナリシカ  
但シ始メ十五字ノ料二十錢ニシテ以下五字ヲ加フル毎ニ(五字以內之ニ同ジ)五錢ヲ増スモノトス
- (三) 甲乙丙ノ三人池ノ周圍ヲ廻ルニ甲ハ一分間ニ全周ノ十二分ノ一乙ハ

- (四) 十八分ノ一丙ハ十五分ノ一ヲ行クト云フ三人同時ニ同所ヲ出發シテヨリ再ビ出發点ニ於テ三人一處ニナルマデノ時間ヲ問フ
- (五) 圓周ト直徑トノ差三尺六寸三分ナル圓ノ周及直徑ヲ問フ  
但シ圓周ト直徑トノ比ハ凡三百五十五ト百十三トノ比ニ等シ
- (六) 五分利附整理公債證書(額面百圓)ノ相場九十二圓拾錢ノトキ一萬八千圓ノ金ニテ此ノ種ノ公債證書ヲ買ヒ得ル丈買ハハ毎年幾何ノ收入金ヲ生ズベキカ

●歴史科

- (一) 聖德太子施政ノ重ナルモノヲ列擧セヨ
- (二) 左記人々ノ生存セシ年代及重要ナル事蹟ヲ記セ  
大伴家持            上杉治憲  
角倉了以            舍人親王  
北條早雲
- (三) 左記各時代ノ概畧年數ヲ示セ



- 奈良時代
- 平安時代
- 鎌倉幕府時代
- 室町幕府時代
- 江戸幕府時代
- (四) 徳川時代ニ尊王攘夷説ノ起リシ原因ハ如何
- (五) 國會ヲ開説スルニ至リシ次第ヲ述ベヨ

◎地理科

- (一) 北海道拓殖ノ現状ヲ述ベ併セテ主要ナル都會ヲ記セ
- (二) 吾邦輸出品ノ主ナルモノ五ツヲ擧ゲ且其主ナル産地ヲ記セ
- (三) 左ノ地名ニ付知ル所ヲ問フノ
  - 一、桐生
  - 二、基隆
  - 三、若松
  - 四、馬山浦
  - 五、厦門
- (四) 吾邦ノ近海ニアル海流ヲ概説セヨ

(五) 大分縣ノ地勢概要ヲ問フ

◎理科

- (一) 食物ノ口腔ニ入りテヨリ排泄スルニ至ルマデ受クル理化的變化ヲ順次記セ
- (二) 日常砥石ニ用ヒラル、石材ノ礦物學上ノ名稱及用途ヲ記セ
- (三) 害蟲益蟲ノ種類ヲ一々列擧セヨ
- (四) 結實ナル植物ト結實セザル植物トハ其増殖ノ上ニ如何ナル相違アルカ
- (五) 積杵ノ平均ノ規則ヲ説明セヨ
- (六) 電信機ノ構造及ヒ其理由ヲ説明セヨ
- (七) 酸、塩基、及鹽トハ各々如何ナルモノナルカ且ツ其相互ノ關係ヲ説明セヨ
- (八) 水ガ火ヲ滅スル効力大ナル所以如何

◎理科 (女子ノ部)



- (一) 蠶兒ノ眠リ起キハ動物學上如何ナル現象ナルカ
- (二) 大脳ト小脳トノ働キノ相違ヲ明記セヨ
- (三) 植物ノ根ハ如何ナル働キヲ有スルカ
- (四) 鐵ノ種類ヲ擧ゲテ其各々ノ用途ヲ附記スベシ
- (五) さいはんの理ヲ説明セヨ
- (六) 衣服ヲ用フル理由如何
- (七) 硬水ト柔水トノ別ヲ問フ如何ナル實驗ニヨリテ之ヲ區別シ得ベキカ
- (八) 食器トシテ銅ヲ用フルハ害アリト其理由如何

◎裁縫科

縫方

表 白唐木綿巾二尺長二尺  
裏 赤木綿並巾 長四尺二寸  
右ノ材料ヲ以テ袷襦綿入ノ袖ト前身ヲ左ノ寸法ニ裁縫スベシ  
縫上リ寸法

袖丈 九寸五分 身丈 有ダク  
前巾 五寸 袖巾 六寸  
袖口 四寸 衿下 五寸  
裾襷 八分

裁方

其他ハ見計ヒ 袖口布ハ付スルニ及バズ  
二丈二尺ノ布ヲ以テ本身單羽織ヲ左ノ寸法ニ依リ圖解スベシ  
袖丈 一尺四寸五分 後大二尺五寸五分  
前下リ 一寸 其他ハ見計ヒ

◎体操科

技術

- (一) 徒手各個教練
- (二) 柔軟体操 (第一、第二、教悉皆)
- (三) 第一徒手体操後半部



- (四) 第一陸鈴後半部
- (五) 實地部隊ノ指揮(行進間ノ諸運動)

●明治三十三年十一月尋常小學校  
准教員檢定試驗問題

●修身科

- (一) 一旦緩急アレバ義勇公ニ奉ジ  
右謹ミテ術義スベシ
- (二) 儉約ニ二義アリ之ヲ解説スベシ
- (三) 遵法ノ必要ナル所以ヲ問フ

●教科

- (一) 各學科ニ於テ言語練習ノ必要ヲ記セ
- (二) 最敬禮ノ作法ヲ教フル方法ヲ記セ
- (四) 實物及標本ノ示シ方ヲ記セ

●國語科(講讀)

- (五) 暗算ノ必要及暗算ト筆算トノ關係ヲ述ベヨ

- (一) 次ノ文章ノ意義ヲ明確ニ記セ  
淵明ガ詩に盛年不ニ里來一日難ニ再晨及時當ニ勉勵一歲月不レ待レ人又  
古詩に少壯不ニ努力一老大徒悲傷ともいへる若き時之とよく考へ後悔  
なからむ事を思ひて時日を惜みてつとむべし
- (二) 左ノ三ツノ語ハ如何ナル區別アルカ  
1、可とせず  
2、可とせざるはなし  
3、可とせざるにあらず

- (三) 次ノ文章中雙線ヲ引キタルモノヲ漢字ニ改メヨ  
骨ノ損傷、激シキシヨトゲキニ逢フカ又ハ高所ヨリツイ下シタル等  
ニヨリ骨ヲハクワイスルコトアリ之ヲ骨ノ損傷トイフ

●國語科(作文)



農ハ國ノ基タル説

書簡文

戦死者の遺族に送る文

◎國語科(習字)

山中無曆日寒盡不知年

右楷行二体

昨日は態々御來訪下され有のたぐ存候

右草体

◎歴史地理科(地理)

(一) 大分縣ノ郡界圖ヲ描キ各郡名及郡役所所在地ヲ圖中ニ記入セヨ

(二) 神戸港門司港ニ就テ知レル所ヲ記セ

(三) 我國ノ工業ニ就テ知レル所ヲ述ベ各種工業ノ盛ナル地ヲ各別ニ擧ゲ

◎歴史地理科(歴史)

(一) 徳川幕府ノ職制ヲ問フ

(二) 親鸞・物部尾興、木戸孝允、足利義滿、三善清行ヲ時代ノ順序ニ記シ且其ノ事業ヲ附記セヨ

(三) 藤原氏ノ政權ヲ得タル原因ヲ問フ

◎算術科(珠算)

(一) 金九千百七拾六圓四拾錢ヲ若干人ニ等分セシニ壹人ニ付五拾壹圓貳拾錢ツヽヲ得八拾六錢ノ剩餘アリタリト云フ其ノ人員ヲ問フ

(二) 玻璃ノ重ハ水ノ三、三二九倍ニシテ銀ノ重ハ玻璃ノ三、一三四倍ナリト云フ然ラバ銀ノ重ハ水ノ幾倍ナルカ

(三) 拾里貳拾九町三拾九間三尺ノ中ニハ壹町拾貳間五尺ヲ幾ツ含ムカ

◎算術科(筆算)



- (一)  $53.7 \times 8.25 = 395.2$  ト  $12.8$  ヲ計算セヨ
  - (二) 上下二種ノ酒アリ一舛ノ價上酒ハ五拾七錢五厘ニシテ下酒ハ四拾二錢八厘ナリ今金三拾壹圓六拾四錢二厘ヲ以テ上酒ヨリ下酒ヲ一斗三舛多ク得ンニハ各何程ヲ買フベキカ
  - (三)  $(\frac{2^2-5^2}{1-5^4} + \frac{6^2-9^2}{1-9^4}) + (10\frac{5}{21} - \frac{27}{328})$  ヲ最簡ニセヨ
  - (四) 脚夫アリ東驛ヨリ西驛ニ急行セントシ毎時壹里半ノ速サニテ歩行セシモ途中ニテ遺物ヲナシ一里九分ノ一ダケ後戻リセシガタメ出立セシ時ヨリ西驛ニ違スルマデニ五時六分ノ五ヲ費セリト云フ兩驛ノ距離幾何ナルカ
  - (五) 吳服尺ニテ五百七拾四丈ノ繩アリ之ヲ曲尺ニテ計リ直シ町間尺ニ命スレバ何程トナルカ
  - (六) 玄米四斗入三十六俵ノ代金百七十一圓三十六錢ナルトキハ四斗五舛入七十二俵ノ代金何程ナルカ 但比例ニテ解答セヨ
- 注意 一、三、ハ運算ノ儘之ヲ詳記シ他ハ算式ト答トヲ記載シ特ニ必

要アリト認ムルトキハ適宜説明ヲ加フベシ

● 體操科 (技術)

- (一) 矯正術第三節、第七節、第九節、第拾六節
- (二) 第一徒手全部

● 明治三十三年十一月小學校專科正教員

檢定試験問題

● 裁縫科

教授法

- (一) 一ツ身襦袢裁方及縫方ヲ教授スル順序方法ヲ記セ
- (二) 尋常小學校第三學年ヨリ高等小學校課程ヲ卒業スル迄ノ裁縫科教授細目ヲ作レ

但一學年ヲ三學期トス

縫方



(一) 表白絹(縮尺)鯨尺三分ノ一

二丈三尺

裏紅絹

二丈五尺

右ノ用布ヲ以テ比翼小袖ノ片身頃(左)ヲ左ノ寸法ニヨリ裁縫スベシ

縫上寸法

身長

四尺

袖丈

一尺五寸

襟下

六寸五分

前巾

六寸

襟巾

四寸

衿下

二尺

袖巾

七寸五分

袖附

六寸五分

裾衽

一寸五分

其ノ他ハ見計ヒ

(二)

巾一尺長五尺五寸ノ用布ヲ以テ七八歳ノ兒童ニ着セシムル普通ノシヤツヲ左ノ寸法ニヨリ裁縫スベシ

但或部分ニミシク使用法ヲココロム

縫上寸法

身巾

四寸七分

行(袖口トモ)一尺三寸五分

後長

一尺五寸

襟廻シ

八寸

前長

一尺三寸五分

其他ハ見計ヒ

裁方

(一)

巾一尺八寸長一丈二尺ノ片面物ヲ以テ袖丈一尺五寸ノ一ツ身二枚ヲ裁合スル圖解及式ヲ示セ

(二)

片面物巾二尺長サ壹丈ノ布ヲ以テ本身裕羽織ノ表ヲ左ノ寸法ニ依リ圖解スベシ

袖巾

九寸

袖丈

九寸

其他ハ見計ヒ

積方

(一)

茲ニ二丈八尺ノ表布アリ之ヲ以テ本身ノ被布ヲ製セントスルニ縫上ゲ寸法袖丈チ一尺五寸トシ後丈ヲ二尺五寸トシ前下リチ八分トシ各部ノ縫込チ三分ツットセバ裏布幾何チ要スルカ

但三ツ衿ノ縫込ハ見積ルニ及バズ

(二)

二尺巾ノ布ヲ以テ大人ノ馬乗袴ヲ作ラントスルニ紐下二尺三寸襟ノ



高一尺五寸トセバ用布何程ナルカ算式及圖解ヲ示セ

●農業科 (問題)

- (一) 由來本邦人ハ牛馬ヲ虐待スルノ觀アリ之ヲ救済スル方法如何
- (二) 温度及光線ノ農作物ニ及ボス差異如何之ヲ詳解セヨ
- (三) 種子ノ發芽力ヲ失フ理由及發芽力ノ有無ヲ識別スル方法如何
- (四) 插秧ノ深淺ニヨリ稻苗ノ生長ニ如何ナル相違ヲ生ズルカ及其理由ヲ問フ
- (五) 苗代田ノ調整管理如何
- (六) 大分縣ノ山林ニ適スル森樹ヲ舉ゲ其繁殖法ヲ附記セヨ
- (七) 儲蓄ノ必要及其方法如何
- (八) 繭絲ニ細大アル理由ト其繭絲ノ蠶体中ニ生ズル所以ヲ問フ
- (九) 石灰ヲ圃場ニ用フ可キ場合ヲ示シ之ガ濫用ノ弊ヲ指摘セヨ
- (十) 次ノ題目ヲ以テ教案ヲ作レ  
但シ一時内ニ配當シタル形式的段階ヲ採ルヘシ

- (一) 大根ノ發芽後ヨリ収獲ニ至ル迄ノ手入
- (二) 社會ノ狀態ニ伴ヒテ農業組織ノ變遷スル狀況ヲ示セ
- (三) 單獨企業及ヒ組合企業ヲ説明シ二者ノ利害及其適スル場合ヲ問フ
- (四) 大根ノ中耕及施肥ノ法
- (五) 麥ノ播種法

●全 (實習)

●體操科  
技術

- (一) 第一啞鈴体操後半部
- (二) 球竿体操全部
- (三) 第二棍棒(第十五節第十六節)
- (四) 木馬(二節飛) 棚(五舉動上リ腰掛飛)
- (五) 鐵棒(片肘上リ彈道下リ及兄懸上リ彈道下リ)
- 小隊教練ノ指揮



問題

- (一) 高等科第三四年女生徒ニ適當ナル遊戲法ヲ列記シ且其内一遊戲ニ付詳細ナル教案ヲ作レ但一時間ノ課業トス
- (二) 棍棒体操ノ目的ヲ詳論セヨ
- (三) 中隊横隊ニアル時第一小隊ヲ基準トシテ中隊縦隊ヲ作ルニハ如何ナル動作ヲナスベキカ且ツ其號令ハ如何

音 樂 科

唱 歌

美しき。 富士山。 岩渡る水。 五日の風。  
才女。 秋 艸。 學べよ。 天長節。

樂器使用

燕。 岸の樹。 深谷の奥。 誠ば人の道(複音)  
忠臣(複音) 美しきわれ(複音) 御國の民。 操練

理 論

樂譜中ニアル縦線ハ何ノ爲ニ用ヒラルルカ嬰變兩種移調ノ有様ヲ

簡畧ニ説明セヨ

長旋法ト短旋法トノ別ヲ記セ

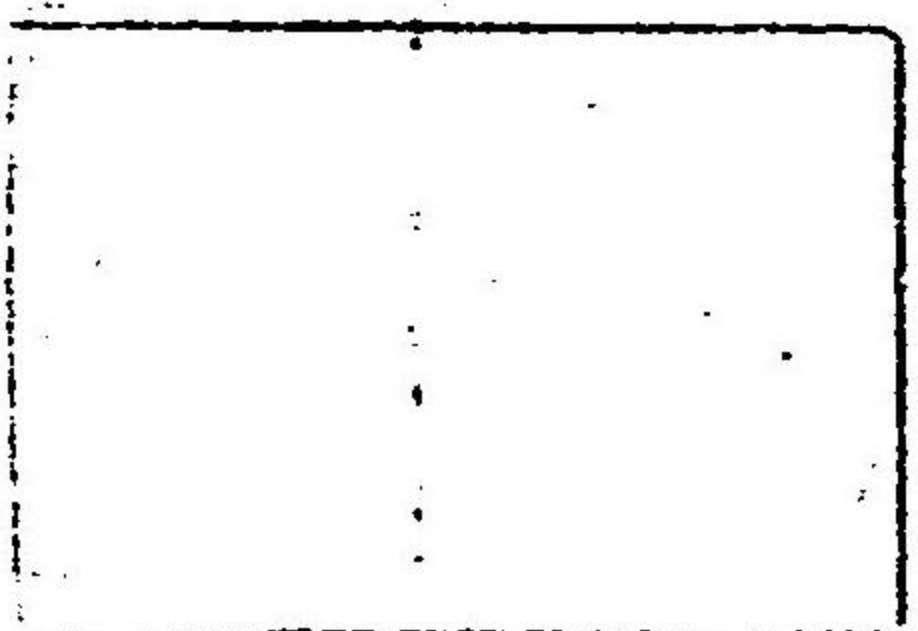
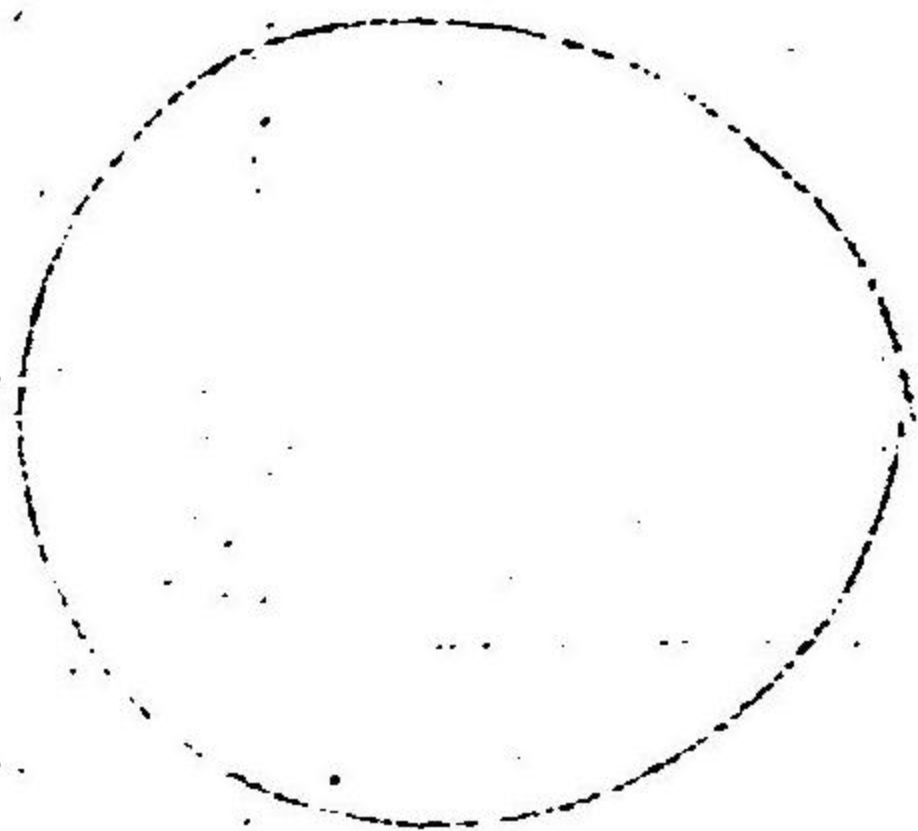
教 授 法

唱歌教授上注意スベキ要項ヲ記セ  
男女各適當ノ音域ヲ記セ

圖 畫 科

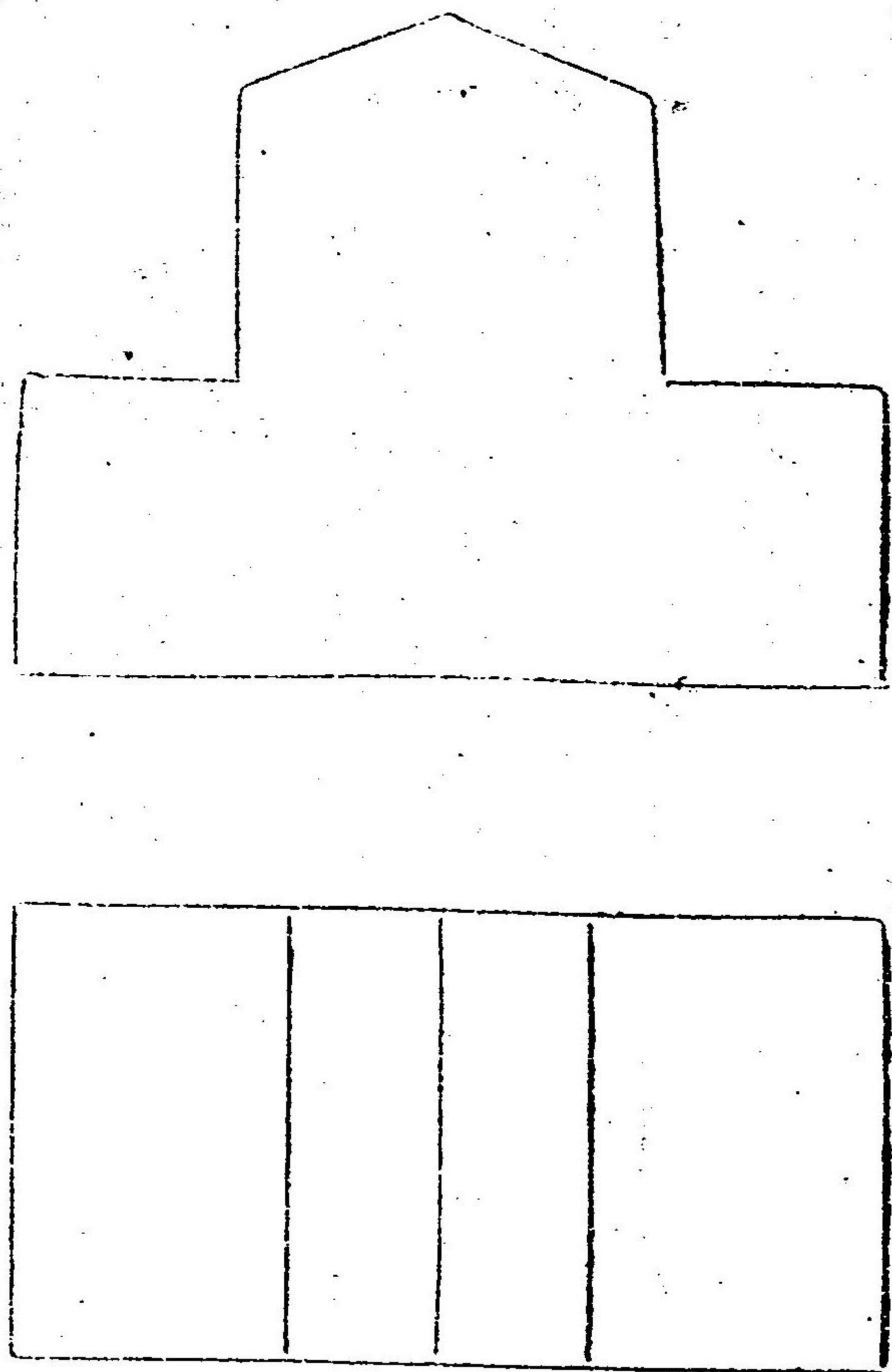
用 器 畫

- (一) 弦及ビ一邊ヲ知テ直角三角形ヲ畫ク法ヲ示セ
- (二) 左圖ノ如キ物体ノ左方四十五度ノ複角ヲナシテ來ル光線ニ由テ生ズル陰影ヲ畫ケ





(三) 左圖ノ透視畫ヲ畫キ物体ノ左方四十五度ノ復角ヲナシテ來ル光線ニ由テ生ズル陰影ヲ畫ケ



(四) 小學校生徒ニ始メテ寫生ヲナサシムルニ際シ教師ノ注意スベキ要點ヲ舉ケヨ

- 自在畫
- 臨畫
- 人物
- 寫生
- 植物

●明治三十三年十一月小學校裁縫專科正教員

普通學力檢定問題

●修身科

婦道(口答)

●國語科

高等新讀本 下編卷三 第二十二章讀講

●算術科

(一) (576+424)×(576-424)

(二) 一俵四斗二升八ノ米百五十俵ノ價七百五十六圓ナルトキハ之ヲ一俵三斗五升入ニ改ムルトキハ一俵ノ價ハ幾何ナルカ

(三) 甲乙二人アリ甲ハ東京ヨリ發シ毎日十三里乙ハ神戸ヨリ發シ毎日十二里ヲ行クトセバ甲ハ何日ニ東京ヲ去ルコト何里ノ地ニテ乙ト出會スルカ

但シ東京神戸間ハ百五十里ナリ



- (四) 三人ノ子アリ父ノ遺産ヲ分シニ次子ハ長子ノ所得ノ三分ノ二ヲ得末子ハ次子ノ所得ノ五分ノ四ヲ得タリ而シテ末子ノ所得金額ハ千八百田ナリト云フ問フ長子及次子ノ所得各幾何

●明治三十四年第一向尋常小學校  
本科正教員檢定試驗問題

◎修身科

- (一) 一旦緩急アレバ義勇公ニ奉ジ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スベシ  
右譯ヲ解説スベシ
- (二) 修學ノ目的ヲ問フ
- (三) 名譽ニ關スル本務ノ大要ヲ記セ
- (四) 公德トハ如何
- (五) 父母ニ對スル本務ニ於テ親愛尊敬ノ二者偏廢スベカラザル理由如何

◎教科

- (一) 想像作用ヲ説明シ且ツ之ガ養成ハ教育上利益アリヤ否ヲ論セヨ
- (二) 左ノ諸性質ハ心理學上如何ニ解釋ベキカ  
自重、自負、不遜、謙讓、怯懦、
- (三) 生徒ニ責罰ヲ加フル時ノ注意如何
- (四) 尋常小學校ニ於テ綴リ方教授事項排列順序ハ如何ニスベキカ
- (五) 徳川時代ニ行ハレタル教育法ノ中ヨリ今日ニ適用セラルベキ事項ヲ採リ出セ
- (六) 小學校教員ノ平生心掛クベキ事項ヲ述ベヨ

◎國語科 (講讀)

- (一) 次ノ熟語ノ意義ヲ記セ  
積極的、消極的、
- (二) 道德的ニ判斷セヨ 書ヲ讀ませらる 勉強せしめ給ふ  
次ノ文字ノ音ト字義トヲ記セ  
(但字音假字遣ハ小學校令施行規則ニ示セル所ニヨレ)



廢、癢、陟、涉、爪、瓜、悔、悔、厭、厭、壓、

(三) 左ノ文章中線ヲ引キタル處ノ意義ヲ判明ニ記セ

不忍ノ池の西の方ハ霧にやあらん打ちくもりて家居も見えず池乃水より續きて空もひとつなるに辻番の火ばかりほのろに見ゆるハ漁火のと疑はる、心ある人のさあそ感情を動かさめと戯れたれば某口の下よりよむ 風絶えて池靜なる水煙

冬ともわかぬ朧夜の月

(四) 左ノ動詞ノ活用ヲ表ニテ示セ

立つ、見ゆ、旅す、焼く、鑄る、

(五) 次ノ文章ニ誤リアラバ訂正セヨ

- 1、若シ早く走れば二時間にて到着す
- 2、明日業を終へバ遠足せむ
- 3、父母の其子に學問さするハ何の爲なるや

● 國語科 (作文)

蜜蜂を養ふ

右紀事文

夏期講習に入會と誘ふ文

右手紙の文

● 算術科 (珠算)

- (一) 五百四十三ト四百四十四トノ和ニ九百八拾七ヲ乘ジ其積ヲ七百八十九ニテ除シタル整數商ト其剩餘トヲ問フ
- (二) 絹糸一卷ノ目方七分二厘ニシテ十五卷ヲ一束トシ七拾八束ヲ一袋トセルモノ五袋アリ之ヲ買フタメニ金百五拾圓ヲ出セシニ貳圓五拾八錢ノ過金アリシト云フ絹糸壹匁ノ代價幾何
- (三) 高壹間半幅貳間半長壹里九町四間ノ提防ヲ築クニ平均壹立方坪ニ付二拾三圓五拾錢ヲ要スト云フ之ヲ貳千六百戸ニテ引受クルトキハ平均壹戸ノ出シ前幾何ナルカ  
答數ハ圓位ノ下二位迄算出セヨ

● 算術科 (筆算)







●地理科

(本問題ハ小學校准教員ト共通)

- (一) 本縣ノ諸港ニ寄航スル汽船ノ定期航路ヲ述ベヨ
- (二) 九州ニアル貿易港ヲ舉ケテ其主ナル輸出入品ヲ記セ
- (三) 臺灣島ノ畧圖ヲ描キ縣廳所在地及港ノ主ナルモノ四ヲ記セ
- (四) 大分町ヲ發シテ清國北京ニ至ルニハ如何ナル道ニヨルベキカ途中ノ狀況ヲ畧記セヨ
- (五) 英國商工業ノ盛大ナル理由如何

◎習字科

月桂高百丈下有 一人常斫之樹創隨合

右楷行書二体

咲きにはふ山の櫻のはなの上にかすみて出てし春乃夜の月

右草書

●裁縫科

裁方

- (一) 二丈一尺五寸ノ布ヲ以テ本身單羽織ヲ左ノ寸法ニヨリ圖解スベシ
  - 袖 丈 一尺四寸
  - 後 丈 二尺五寸
  - 前下リ 一寸
  - 襠 丈 一尺二寸
  - 袖口布丈 一尺六寸
  - 其他ハ見計ヒ
- (二) 巾二尺長サ九尺ノ布ヲ以テ四ツ身長着ヲ左ノ寸法ニヨリ圖解スベシ
  - 袖 丈 一尺五寸
  - 身 丈 三尺
  - 其他ハ見計ヒ

積り方

- (一) 絃ニ五丈三尺ノ布アリ之ヲ以テ着物二枚ヲ裁ツニ寸法ハ各同一ナリ  
袖丈ヲ一尺四寸五分ニシテ衽ヲ鈎衽ニセバ身ノ丈幾何トナルカ  
但衽下リ五寸鈎下二尺

右算式ヲ記セ

縫方

表布 白金巾 巾五寸長サ五尺八寸



裏布 白金巾 巾五寸長サ四尺六寸  
八掛布 赤絹 巾八寸五分長サ一尺四寸

右ノ材料ヲ以テ裾綿入ノ衣服ノ片身頃ヲ左ノ寸法ニヨリ裁縫スベシ

裁切寸法

袖丈	七寸五分	身丈	一尺五寸
衿巾	三寸五分	衿下リ	二寸
		縫上寸法	
衿下	五寸	袖口	三寸
袖付	三寸五分	裾衿 <small>ズツキ</small>	一寸

其他ハ見計ヒ

●明治三十四年第一回小學校准教員檢定試驗問題

◎修身科

(一) 公益ヲ擴メタル人ノ例話ヲ記セ

(二) 勤儉貯蓄ノ必要ヲ圖フ

(三) 養生法ノ大綱如何

(四) 慾ヲ節制スル方法如何

◎教科

(一) 發問ヲ最モ有効ナラシムベキ方法如何

(二) 公德養成ノ方法ヲ述ベヨ

(三) 地理教授ノ要旨ヲ記セ

(四) 國語教授ノ要旨ヲ述ベ且ツ讀ミ方書キ方綴リ方ヲ連絡セシムベキ方法ヲ説ケ

(五) 理科ニ於テ教授スベキ事項ヲ擧ゲ且ツ教授上注意スベキ諸点ヲ記セ

◎國語科 (講讀)

(一) 塙保已一は幼き頃より旨よして白黒の色のけちめだよ知らぬ身として怪しく書と好みて人に讀ませ聞きてはやがてころにうかべて忘



るる事なくこらの古書とひろく集め世にかくれたりける珍書と  
もとよへあまた木めて校訂せり

右解譯スベシ

(二) 光政自ラ擧スルコト清約ニシテ菲衣粗食スレドモ美ヲ禮服ニ盡シ祖  
先ノ宅非ヲ築キ家康ノ廟ヲ興スルニハ皆莊嚴ヲ致シ一ニ禮節ニヨレ  
リ其他溝瀆ヲ修メ堤防ヲ築クカ如キ事ノ人民ニ便ナル者ハ萬金ト雖  
凡其ノ費ヲ問ハス

右 符ヲ施セルトニヒノミヲ解釋セヨ

- (三) (イ) 個人的 (ロ) 國家的 (ハ) 狹隘 (ニ) 擾亂 (ホ) 清淨無垢 (ヘ) 船渠 (ト) 樞密院
- (チ) いなみ申す (リ) 行かばや (ヌ) ゆめ (ノ) 右語ノ意義ヲ示セ但シ漢字ニハ讀ミ方ヲモ記セ

◎ 國 語 科 (作文)

牧牛ノ説

右記事文

實業補習學校の狀況を問ひ合する文

右手紙ノ文

◎ 國 語 科 (習字)

水隨方圓之器人因善惡之友

右楷行書二体

過日御注文に及び置候書籍至急御送附相願候

右草書

◎ 地 理 科

尋常小學校正教員ノ問題ト共通

◎ 筆 算

- (一) 甲乙二數アリ其積百四ニシテモシ其積二十六チ加フレバ甲數ノ十五倍トナルト云フ甲乙二數各如何
- (二) 東西二倉ニ米五百四俵ト三百九拾六俵トアリ東倉ヨリ毎日八俵ツツ



西倉ヨリ毎日十二俵ヅツ出ストキハ何日ノ後東倉ノ殘米西倉ノ殘米ノ二倍トナルカ

(三) 甲子ノ日ガ日曜日ナルトキ次ノ甲子ノ日ガ日曜日トナルマデノ日數ヲ求ム

(四) 次式ヲ簡單ニセヨ

$$\begin{array}{r} 5+6-1 \\ \hline 1 \\ \hline 6 \\ \hline 1 \\ \hline 1 \\ \hline 4 \\ \hline 4 \end{array} \times \frac{10}{9}$$

(五) 兩人競走ヲナセシニ毎時ノ速度甲ハ十二哩乙ハ十三哩ニシテ乙ハ甲ヨリ十五秒前ニ決勝点ニ着セシト云フ其競走セシ去離幾何

(六) 毎日六分宛進ム時計ヲ正午ニ合セ置キシニ其日ノ午後六時ト七時トノ間ニ於テ兩針相合セシキハ眞時ノ何時ナルカ

珠算

- (一) 如何ナル數ヲ七千二百拾五ニテ除スルトキハ整數商千二百三十五ト其剩餘千貳百三十五トヲ得ルカ
- (二) 清酒參拾七樽ヲ六百四圓九拾五錢ヲ以テ仕入レタリ平均一樽ノ容量ヲ三斗七舛五合トスレバ一舛ノ價幾何ニ當ルカ
- (三) 長サ三間幅貳間半ノ座敷アリ方鯨尺壹尺ニ付價拾錢ノ敷物ヲ布クニ要スル總代價幾何

◎ 体操科  
技術

- (一) 各個教練、分隊教練、柔軟体操  
但シ抽籤ニテ一運動ヲ實地ニ指揮セシム
- (二) 第二徒手体操
- (三) 第一體操 (中史ヨリ終迄)

◎ 裁縫科



裁方

(一) 二丈一尺ノ布ヲ以テ中裁長着ノ衣服ヲ左ノ寸法ニ依リ圖解スベシ  
 袖丈 一尺六寸。 衿巾 三寸。 衿明 四寸。  
 衿下ツ 四寸。 其他ハ見計ヒ。

(二) 壹丈四尺八寸ノ布ヲ以テ四ツ身筒袖ノ袷羽織ノ表ヲ左ノ寸法ニヨリ  
 圖解スベシ  
 袖丈 七寸。 後丈 二尺九寸。 後巾 七寸五分。  
 其他ハ見計ヒ

縫方

(一) 表布 白金巾 巾一尺二寸長サ二尺六寸  
 裏布 赤金巾 巾六寸 長サ三尺五寸

右ノ材料ヲ以テ袷羽織ノ片身頃ヲ左ノ寸法ニ依リ裁縫スベシ  
 裁切寸法

袖丈 七寸五分。 袖巾 六寸。 後丈 一尺七寸。

後巾 六寸。 前巾 四寸。 袖口 三寸五分  
 着丈 一尺三寸。

積リ方

(一) 袖丈一尺四寸五分身丈三尺八寸六分衿下リ五寸ニ裁切タル本身棒衿  
 ノ表布ト別ニ八掛布八尺五寸アリ之ヲ以テ袷ノ衣服ヲ製セントスル  
 ニ襟衿ヲ縫上リ二分トシ奥裏ト八掛トノ縫合セノ縫込ヲ各五分宛ト  
 セバ奥裏布幾何ヲ要スルカ右算式ヲ記セ

●明治三十四年第一回尋常小學校本科准教員  
 檢定試験問題

修身科

- (一) 國憲ヲ重シ國法ニ遵ヒ  
 右謹ミテ解説スヘシ
- (二) 信義ヲ以テ朋友ニ交リタル人ノ例話ヲ記セ
- (三) 勇氣トハ如何ナル徳カ



◎ 教 育 科 三十日 自午前九時  
至全十二時

- (一) 修身教授ヲシテ効果アラシメントセハ如何ニスヘキカ
- (二) 算術科教授ノ要旨如何
- (三) ハナト云フ字ヲ教フル教按ヲ作レ
- (四) 遊歩場ニ於ケル注意ヲ舉ケヨ
- (五) 豫備トハ如何且ツ其ノ必要ヲ述ベヨ

◎ 國 語 科

- (一) 次ノ語ノ讀ミト意義トヲ記セ  
但字音假字遣ハ小學校令施行規則ニ示セル處ニヨレ  
地中に埋没す 秘密の探偵  
寂寥なる生活 汝の午後に来るへし  
彼の人の午後に来るへし
- (二) 左ノ文章ノ意義ヲ記セ  
シドニー府の珈琲御殿に行きて見るに室内壁なく戸なく姿見の鏡四

方に反映せるに眩目しセント、メーレー教會の壯麗なるに膽と消し  
プリンツ演劇場の盛大なるに魂を飛ばし見聞の事一として東洋の孤  
客を驚かし究さるはなし

◎ 國 語 科 (作文)

養 鶏

右記事又

養蠶の景況と問ひ合する文

右手紙の文

◎ 習 字 科 二十八日 自午前十一時  
至全十二時

二人同心其利斷金

右楷、行、書二体

御足勞ながら只今御入來下され度候

右草書



(楷書、行書、各一、枚)

二人同心

(草書)

其利斷金

郡町姓名

御足勞なから

只今御入來下

され度候

郡町姓名

◎算術科(筆算)

- (一) 5832.013ト3.1416ヲ計算セヨ  
但整除シ得サルトキハ小數点以下第三位マデ求ムルヲ要ス
- (二) 帽子一個ト靴一足トノ價ノ差ハ六十五錢ニシテ帽子十五個ト靴十二足トハ其價相等シト云フ各一個ノ價幾何ナルカ
- (三) 小包郵便物ハ長幅厚共ニ二尺ヲ限リトスレトモ幅及厚五寸以内ノモノハ長二尺ヲ以テ限リトス此兩制限體積ノ差幾何ナルカ

(四)

$$\begin{array}{r} 18 \\ \times 62 \\ \hline 108 \\ 1080 \\ \hline 1116 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 1 \\ \times 12 \\ \hline 12 \end{array}$$

ヲ計算セヨ

- (五) 工夫三人アリ各等シキ器ヲ造ルニ甲ハ五日ニ一個ヲ造リ乙ハ七日ニ二個ヲ造リ丙ハ十一日ニ四個ヲ造ル因テ問フ三人協力シテ三個ヲ造ランニハ幾日ニテ成功スヘキカ
  - (六) 四十八人が八時十五分間ニ耕スヘキ田地ヲ百三十二人ニテハ何時間ニ耕シ得ヘキカ但比例式ニテ解ケ
- 注意 一、ト四、トハ運算ノママ之ヲ詳記シ其他ハ算式ト答數トヲ作り特ニ必用アリト認ムルトキハ便宜説明ヲ加フヘシ
- 珠算
- (一) 五百七十五ト三百十七トノ和ト差トノ積ヲ七百九十六除シテ整數商ト其剩餘トヲ求メヨ
  - (二) 或人東京ヨリ京都ニ到ラント欲シ毎日八里貳拾五町三拾間ツツ十三日間歩ミシニ京都ヨリ貳里拾町五間手前ノ所ニ達セリト云フ此兩都



間ノ路程幾何

- (三) 長四十六間幅三十貳間三尺ノ長方形ナル田地アリ其價八百七十六圓七錢ナリト云フ壹段ノ價幾何ニ當ルカ

● 歴

史 二十八日 自午二時 至午三時

- (一) 桓武天皇ノ御代ニアリシ著シキ事蹟ヲ舉ケヨ
- (二) 足利時代ニ於ケル文學技藝ノ大畧ヲ述ベヨ
- (三) 左ノエトドモヲ説明セヨ

德政

元字金

公武合體

● 地理科

- (一) 本縣各郡ノ產物ノ重ナルモノ各二ヲ列記セヨ
  - (二) 九州ニアル鐵道線路ノ畧圖ヲ描キ主ナル停車場ヲ示セ但輪廓圖及地勢等ハ描クヲ要セス
  - (三) 左ノ郡邑ニツキ知ル所ヲ記セ
- 浦賀 敦賀 能代 足利 桑名

● 體操科 (技術)

- (一) 矯正術 第三 第五 第十五 第十六節
- (二) 徒手体操第一演習終迄
- (三) 實地指揮(行進間ノ諸運動)

第貳 受験手續

中學校入學願書式

第一號(用紙小判野紙)

入學願

府(縣)郡(市區)町(村)番地華士族平民  
職業戶主(何某何男等)

氏

名

何年何月日生  
當何年何ヶ月



右者今般御校第何年級へ入學致度候ニ付御檢定ノ上御許可被下度別紙本人履歷書相添へ此段相願候也

右父兄(若バ後見人)

年月日

氏

名

大分縣何中學校長某殿

履歷書

學業

一明治何年何月何地學校ニ入り何級迄修業或ハ何年卒業證書寫左ノ如シ

(單級ノ高等小學校ニ在學ノ者ニシテニケ年以上修業スルモノハ其ノ學校長又ハ首席教員ノ證明書ヲ添付スベシ)

證書寫

一全何年何月ヨリ何年何月迄何某ニ就キ何學修業右之通相違無之候也

年月日

氏

名印

手数料

受験者ハ手数料トシテ金五拾錢ヲ願書ニ添へ差出スベシ

高等女學校入學手續

入學願書(用紙半紙)

私義御校何科第何年級へ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書相添へ此段相願候也

族籍職業

戶主(某何女又ハ姉妹)

氏

名印

年月日

居住何府縣何郡町村大字何何番地

(寄留者ハ本籍ヲモ併記スベシ)

右某父兄(後見人)

氏

名印

居住何府縣何郡町村大字何何番地

(寄留者ハ本籍ヲモ併記スベシ)



大分縣立高等女學校長氏名殿

七八

學業履歷書 (用紙半紙)

族籍職業

戶主(某何女又ハ姉妹)

氏

名

居住何府縣何郡何町村大字何何番地

(寄留者ハ本籍ヲモ併記スベシ)

學業

一何年月日何地公(私)立何學校ニ入リ何年月日何學年修業(全科卒業)證書寫左ノ如シ

入學願書差出ノ時マデ證書ヲ得ルニ至ラザルモ入學前ニ之ヲ得ベキ見込アルキハ其ノ學校長ノ證明書ヲ添付スベシ

一何年月ヨリ何年月迄何某ニ從ヒ何學科修業

賞罰

一何年月日何所ニ於テ何事ニ付賞ヲ受ケ若クハ罰ヲ被ル等

右之通相違無之候也

年月日

氏

名印

師範學校入學手續

入學願

某(志願者)儀小學校教員志願ニ付御校へ入學御許可相成度尤某ノ身上ニ關スル一切ノ事件ハ保證人ニ於テ引受可申候依テ履歷書戶籍寫及品行證明書相添へ此段相願候也

大分縣何郡何町村何番地

華士族平民

戶主(誰長次男第等)

入學志願者 氏

名印

年月日

當何月幾年幾月

大分縣何郡何町村何番地

華士族平民

保證人 氏

名印

七九



大分縣師範學校長氏名殿

品行證明書

族籍

氏

名

右者從來品行上不都合ノ廉無之依テ之ヲ證明ス

年月日

何郡何町長 氏

名印

履歷書

何郡何町何番地

華士族平民

戶主(誰長次男弟等)

氏

名

何年何月日

學業

一何年何月ヨリ何年何月マデ何所誰ニ就キ或ハ何學校ニ於テ何學科  
修業若クハ卒業ス

證書寫

何々

職務

一何學校正准教員ニ從事シ月給若クハ手當若干ヲ受ク

辭令書寫

何々

賞罰

一何年何月何所ニ於テ何何ニ付何賞若クハ何罰ヲ受ク  
右之通相違無之候也

年月日

右

氏

名印

教員檢定願手續

小學校教員試驗(無試驗)檢定願

何府縣何郡(市區)何町(村)何番地

居住族稱戶主(誰幾男女等) (寄留者ハ本籍寄留  
籍ヲ併記スベシ)



(尋常)小學校本科正  
(專科正)(准)教員志望

氏

名

何年何月生

八二

何何試驗場ニテ受験冀望

(朱書)試驗檢定出願  
者ニ限ル

私儀本縣内ニ於テ前記ノ教員志望ニ付試験(無試験)檢定ノ上免許  
狀御授與相成度別紙履歷書等相添此段相願候也

年月日

右

氏

名印

大分縣知事某殿

履歷書

何府縣何郡(市區)何町(村)何番地居住  
族稱戶主(誰幾男女等)

氏

名

何年何月生

學業

一何年月ヨリ何年月マテ何地官(公私)立何學校ニ於テ何學科ヲ修業  
ス

一何年月何地官(公私)立何學校ニ於テ何學科ヲ卒業ス(證書寫ヲ添  
フベシ)

一何年月ヨリ何年月マテ何地何誰ニ就キ何學修業ス  
教員檢定試験

一何年月何地ニ於テ何何教員ノ試験ヲ受ケ何何免許狀(又ハ何何科  
目ノ證明書)ヲ受ク(色許狀證明書寫ヲ添フベシ)

職務

一何年月ヨリ何年月マテ何何ニ從事ス

(辞令書寫へ(俸給辞令共)ヲ添附スベシ)

賞罰

一何年月何所ニ於テ何何ノ事由ニ依リ賞(罰)ヲ受ク等  
右之通ニ候也

八三



年月日

證明書

右

氏

名印

何府縣何郡(市區)何町(村)何番地居住  
族稱戶主(誰幾男女等)

氏

名

何年何月生

右者小學校令施行規則第四百四條ニ該當ノ者ニ無之依テ證明候也

年月日

何郡何町村長氏名印

教員檢定手数料

小學校教員檢定ヲ出願スル者ハ手数料トシテ本科正教員ハ金壹圓ヲ  
專科正教員及小學校准教員ハ五拾錢ヲ尋常小學校准教員ハ金參拾錢  
ヲ納ムベシ

前項ノ手数料ハ檢定出願ノ際願書ト共ニ差出スベシ其ノ既ニ差出シ  
タル手数料ハ願下ヲナシ若クハ試験ニ應セサルトキト雖モ返付セス

小學校教員檢定試験ニ關スル參考用書

尋常小學校本科正教員ノ部

科目	書目	著譯者	發行所
修身	秋山通世	那珂通世	共益商社
	成美堂	成美堂	成美堂
	井上哲二郎	新編倫理教科書	金港堂
	高山林次郎	實踐教育學	金港堂
	橫山榮次	普通教授學	金港堂
	土井龜之進	新說學校管理法	全文館
	橫山榮次	新說學校管理法	全文館
	育成會編纂	訂正中等國文典	富山房
	三土忠造	新編國文讀本卷二三	山田安貞
	藤井乙男	高等新讀本	辻太
西村正三郎	小學新讀本	辻太	



科目	著譯者	書目	發行所
國語	干河岸貫一	日本立志編	前川善兵衛
國語	學海指計社	訂帝國讀本	小林八郎
國語	全	尋常帝國讀本	全
算術	渡邊政吉	小學尋常日本讀本	全
算術	藤澤利喜太郎	算術教科書	大日本圖書株式會社
算術	井尻艶太	中等大分縣地理教科書	甲斐書房
地理	山上萬次郎	新撰地理日本部	富山房
地理	全	外國部	全
歷史	新保磐次	補日本史要	金港堂
歷史	眞島武利	中等理化示教	博文館
理科	岡田武利	近世生理學教科書	三木佐助
理科	丘淺治郎	中等新體博物示教	集英堂
理科	佐々木豊三郎	教育	集英堂

尋常小學校准教員ノ部

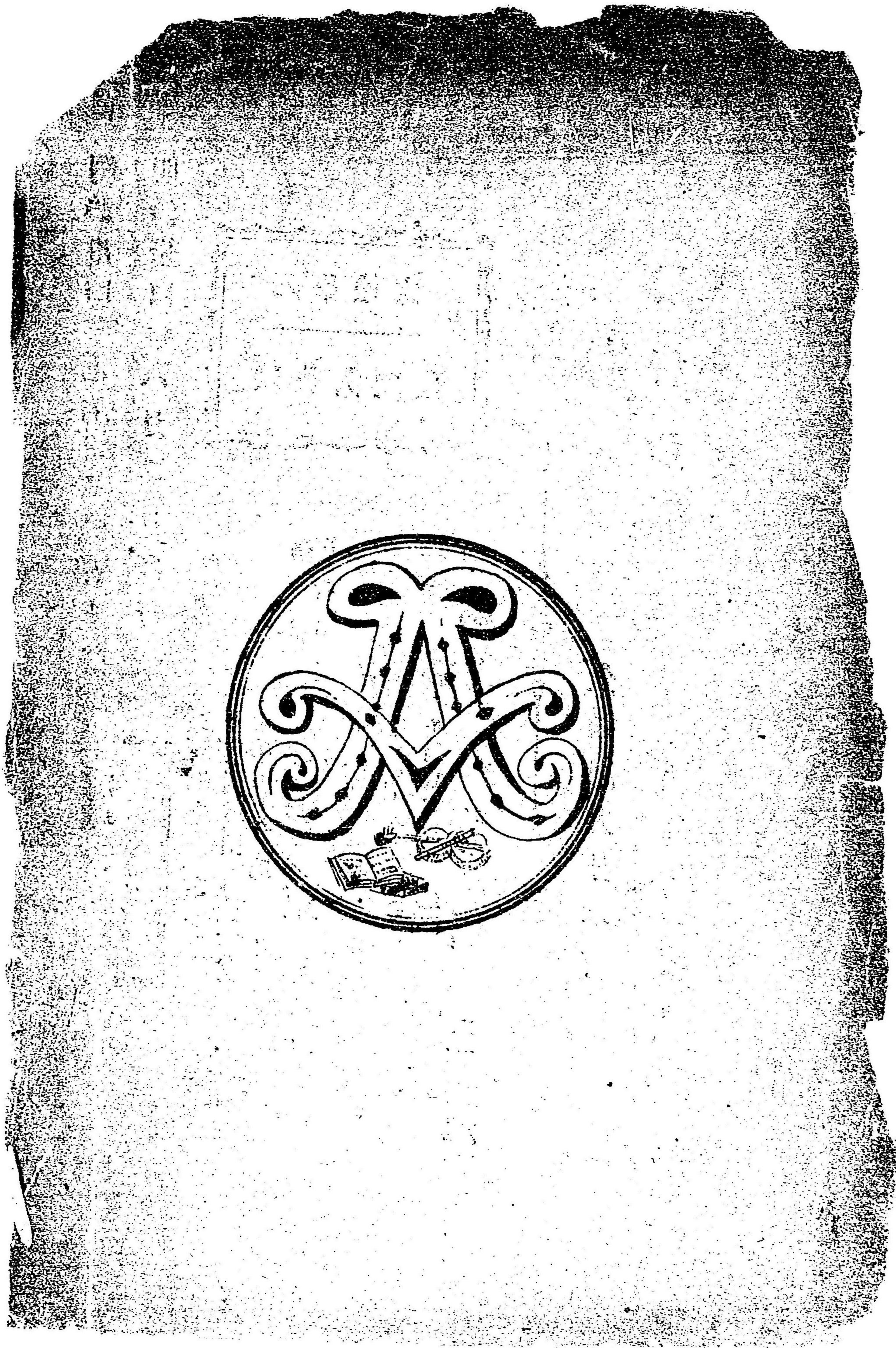
科目	著釋者	書目	發行所
修身	秋那山四郎世	刺語術義	共益商書
修身	成美堂	小學校修身書 教師用	成美堂
教育	齋藤鹿三郎	實用小教育學 第四卷 教育ノ方法	山海堂
教育	西村正三郎	高等新讀本	辻太郎
國語	學海指針社	訂帝國讀本	小林八郎
國語	全	尋常帝國讀本	全
算術	渡邊政吉	小學尋常日本讀本	金港堂
算術	樺正輩	算術教科書	三省堂
地理歷史	井尻艶太	中等大分縣地理教科書	甲斐書房
地理歷史	山上萬次郎	新撰地理日本部	富山房
歷史地理	新保磐次	新撰地理日本部	金港堂

小學校准教員ノ部











049538-000-8

特62-286

入学検定試験問題集 第1集

青莪堂

M34

BEM-0208

